令和８年３月１６日

甲府市立甲府商科専門学校
　校長　井　上　耕　史　　様

学校関係者評価委員会
委員長　　田　中　雅　明

令和７年度学校関係者評価結果報告書

学校関係者評価結果を別紙のとおり報告いたします。

１　学校関係者評価委員
　田中　雅明（関係学校：甲府商業高校校長）
　花田　　智（企業・団体：甲府商工会議所常務理事）
　里吉　　勝（地域住民：西下条自治会長）
　佐野　律喜（卒業生：同窓会長）
　越石　将幸（ご家族：後援会長）

２　学校関係者評価委員会の開催状況
　第１回委員会　日　時　令和７年６月２４日（火）午後２時３０分から４時まで
　　会　場　甲府商科専門学校　西大教室
　第２回委員会　日　時　令和８年２月　９日（月）午後１０時から１１時３０分まで
　　会　場　甲府商科専門学校　西大教室

３　評価結果
　別紙のとおり

評価項目ごとの学校関係者評価結果

（1）教育理念・目的・人材育成像

【評価できる点】
○教育理念・目的・人材育成像は職員、学生、ご家族から評価を得ている。

（2） 学校運営

【評価できる点】
○ビジョンとミッションが年度当初に文書で明確に提示されている。
○運営組織や意思決定機能は規則等で整備され、適切に運用されている。
○人事、給与に関する規程等は、市の条例及び教育委員会規則等において整備されている。
○業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されている。校長を中心に、職務上の利害関係者との対応、関係法令に即した執行と市民サービスの向上のため、職務専念義務や勤務時間の厳守、交通法規の遵守、情報漏洩の防止、学生の安全確保等に努めている。
○成績管理システム、出欠席管理システム、入試処理システムなどに加え、校内グループセッションでは、教職員のスケジュール管理や諸連絡などにより、業務の効率化が図られている。
○従前のホームページや「学校だより」「SHU 活」等に加え、今年度から SNS（Instagram）の運用も開始し、高校生に向けた情報発信に力を入れ始めている。
○企業訪問により、教育目標や活動状況等の情報提供を行っている。

（3） 教育活動

【評価できる点】
○「地場企業に貢献する人材を育成する」という教育理念に沿った教育課程を編成しており、高い就職率を実現している。特に１２年連続で就職率１００％を達成していることは高く評価できる。
○今年度で９年目を迎える「山梨地域経済概論」は、エクシオグループ及びドコモＣＳの支援を受け、会計情報科は「リニア山梨県駅周辺のまちづくり」、情報処理科は「地域社会のＤＸ化推進」をテーマに一年間の研究活動が実施された。例年以上にフィールドワーク、インタビュー、アンケート等を積極的に実施し、質の高い研究となった。校内選考を経て、代表４グループがリッチダイヤモンド総合市民会館にてステージ発表を、代表以外のグループは同会場にてポスターセッションによる成果発表を行った。学生に「社会人基礎力」を身に付けさせる活動として大いに評価できる。

○会計情報科では、簿記を中心に税務や経営学を学び、実践的な能力を身につけることで、社会で即戦力として活躍できるビジネスパーソンの育成に力を入れている。情報処理科では、国家試験の情報処理技術者試験に注力し、中でも高度ＩＴ人材向けである応用情報技術者試験に特に注力している。応用情報技術者試験では、今年度は1名合格者を輩出している。
○企業関係者を講師にした科目を実施するなど、両科とも職業実践専門課程の趣旨を踏まえ、職業教育の視点に立った指導を取り入れている。
○教育課程編成委員会の委員に企業等関係者等を委嘱するなど、企業や業界団体との連携によりカリキュラムの見直しと作成を行っている。
○会計情報科では、カリキュラム変更に伴う簿記授業の時間増加とグループ学習の導入が効果を上げ、日商簿記3級では1年生全員が合格し、2級の合格率も向上した。また、FPの授業では「お金の学びすごろく」を協働制作する活動を取り入れ、難解になりがちな税金・金融分野を自分ごととして捉えられるようにした。完成したすごろくは地域の方々にも体験していただき、学びを還元する機会となり、理解の深化と検定合格率の向上にもつながった。
○情報処理科ではカリキュラム変更と昨年度の反省を生かすことにより、昨年に比べて学生の理解が深まり、結果としてすべての検定での合格率上昇につながった。検定結果は次のとおり、

基本情報技術者試験（国家試験）
Pythonプログラミング能力認定試験３級（サーティファイ）
AI検定（サーティファイ）
G検定（日本ディープラーニング協会）

また､AIを使った応用として顔認識を利用してドローンを操作するゲームの作成が成果として挙げられる。自ら考えたゲームを多くのお客様に利用して頂き、直接反応を見るという貴重な時間を過ごすことができた。
○成績評価・単位認定・進級卒業判定が客観的な数値として明確になっている。
○教員や学生による授業評価も実施するなど、授業の改善に積極的に取り組み、山梨県教育委員会から商業科・情報科の指導主事の授業参観と、その後の研究協議で指導助言により、さらなる授業の質の向上に努めている。特に昨年度に引き続き「学生主体の学び」となる授業力の向上をめざし、９月に校内教員研修会を開催し、その授業実践として１０月から１２月には相互授業参観を実施している点、その授業実践でICTを利活用している場面が多い点は、大いに評価できる。また今後は先端的な知識・技能を修得するための研修も計画している。

（4）学修成果

【評価できる点】

○担任、学科主任、進路支援室が一体となって学生から得た情報を相互に交換し、個々の学生の人間性や専門性の把握をもとに進路支援を行っている。

○学校、ハローワーク、甲府市産業部、山梨県中小企業団体中央会等との連携を緊密にしながら、学生の進路に関する適切な支援体制を整えている。また、企業の人事担当者やハローワークのスタッフ等による就職模擬面接を取り入れるなど、手厚い支援を行っている。

○企業、行政、関係諸団体等主催の進路に関する校外行事の参加を推奨し、現場での指導も行っている。

○校内行事としては、就活強化プログラムや家族対象の就活講座を配信するなど、学生、家庭、そして学校が一体となった支援を行っている。

○外部の講師を招いて社会人教育や職業教育等の講義を行っている。

○近年の就職率は年々向上しており、県内就職率１２年連続１００％となっている。

○令和７年度に令和７年３月卒業生が就職した県内企業３１社（昨年訪問した企業を除く）にヒアリングを実施し、定着状況の調査を行った。

（5）学生支援

【評価できる点】

○毎日ホームルームを行うなど、クラス担任が学生の心身の状況をよく把握している。

○学生支援委員会を設置し、職員が情報を共有し、学校全体で学生の抱える問題解決に当たっている。

○特別な支援を必要とする学生については、学生・保護者への対応と共にスクールソーシャルワーカーや専門機関と連携し、さらに効果的な対応を進めている。

○特別な事情がある場合は、授業料の減額又は免除が可能な旨要綱に規定されている。また、日本学生支援機構の奨学金（第一種、第二種）等により、学生負担を軽減することで学業に専念できるようにしている。

○成績不振や毎日のホームルーム及び授業の出席状況を一時間毎に把握し、欠席が多い学生などは、家庭ときめ細かく連絡を取り合う体制になっている。

○学校行事は、学生の主体性を高めることに比重を置き、実施している。体育大会では学生が企画・運営を行い、今年度から復活したことぶき勧学院 PC 講座では学生が授業内容を考えたり当日に講師となって教えたりした。その他の多くの学校行事でもクラス役員会を通じて学生が主体的に携われるように工夫している。

（6）教育環境

【評価できる点】

○施設の基幹部分（校舎、空調、照明、トイレ等）と老朽化が進んでいる部分については、緊急度・重要度を勘案しながら施設整備計画を作成し、年次的に適時必要な補修・修繕・維持管理している。施設の老朽化が進んでいることで、アンケート結果は学生及び教職員の評価は低くなっているが、整備に伴い評価も昨年度より高くなっている。
また、年に一度、環境調査（水質・空気）及び教育委員会による施設調査も実施している。

○令和７年度にWi-Fi環境の整備ができ、授業や教育活動の質が向上している。また新たに教育教材の追加整備を進められることは大いに評価できる。これにより、学生の確保、訴求力という面でも効果的である。

○インターンシップについては準備段階から受け入れ企業選定の指導や、研修中の職員の訪問により企業への挨拶・学生の激励を行うなど、教育体制の整備に努めている。

○教育機器のパソコン等については、５年毎に更新し必要十分な性能の確保に努めている。

○避難訓練のマニュアルを作成し、法令に基づく設備の点検、年２回の避難訓練を実施している。

○自然災害による帰宅困難者の対応のため、食料の備蓄なども行っている。

○危機管理マニュアルを整備している。

（7）学生の受入れ募集

【評価できる点】

○学生募集のために次のような活動を行っている。
オープンキャンパス、入試説明会、希望者へのパンフレット・募集要項の配布、高校訪問、高等学校主催の学校説明会への参加、新聞、雑誌等への広告掲載を適正に行っている。昨年度に引き続きに長野県岡谷会場の進学相談会に参加し、長野県の高校訪問し、広報活動を行った。また、長野県及び静岡県の本県との隣接エリアの高校へ、学校紹介パンフレット等を送付した。

○オープンキャンパスはその参加者の入学へ繋がるケースが増加しており効果が現れている。

○学校パンフレットも年々改善がなされ、学校紹介に効果をあげている。

○学校納付金は、同分野の学校と比べて低く設定されている。

（8） 財務

【評価できる点】
○甲府市の財務会計に関する条例や規則等に則り、予算、執行、会計監査、決算は適正に処理され、公開されている。

（9） 法令等の遵守

【評価できる点】
○規則、マニュアル等に則り、学校関係者や社会に対するコンプライアンスは適正に維持されている。
○市の個人情報保護条例に基づき、個人情報は適正に管理されている。
○学生の氏名、肖像等をホームページや「学校だより」等に掲載する承諾を学生及び保護者から得ている。
○自己点検・自己評価については、学生・保護者アンケートを実施し、問題の掘り起こしと改善に努めている。また、学校関係者評価委員会において結果を報告し、評価をいただいている。

（１０）社会貢献・地域貢献

【評価できる点】
○本校の敷地は災害時の広域避難場所に指定されている。具体的には、本校の敷地は災害時の広域避難場所に指定されている。また、夜間や休日にテニスコートを地域に開放している。
○学校の教育資源や施設が社会・地域に貢献できるための方策を検討している。
○地域貢献活動については、以下に示す活動を行い、新聞に取り上げられる活動も多く、高評価を得ている。
・山梨県グラウンド・ゴルフ協会との共催による親善交流大会
・フードバンク山梨「フードドライブ」への協力
・甲府市銀座商店街の七夕飾りつけへの協力
・献血
・ことぶき勧学院生への PC 講座
・甲府市市制施行記念式典での市民憲章唱和
・山梨テクノ ICT メッセへのブース出展
・西下条地区グラウンド・ゴルフ愛好会との交流会
・甲府市社会福祉協議会「フードアプリケーションプラス」への協力
・「こうふ開府の日」記念イベント出展
・甲府市二十歳のつどいボランティアスタッフ
・高等学校等への学生派遣事業（学生が講師等）
○「長期高度人材育成コース」対象校として認定されている。